

### 執筆者紹介（掲載順）

木畑 洋一	成城大学法学部教授、 東京大学名誉教授	西嶋 淳	本学経済学部教授
孫 飛 舟	本学総合経営学部教授	柴田 悦子	大阪市立大学名誉教授
初谷 勇	本学総合経営学部教授	河原 典史	立命館大学文学部教授
		福田 敦	関東学院大学経済学部教授

### 編集委員（50音順）

（○論文審査委員）

○飯田耕二郎	本学総合経営学部教授	○富田和暁	本学経済学部教授・大学院地域政策学研究科長
上原一慶	本学経済学部教授・当研究所所長	○前田啓一	本学経済学部教授・経済学部長・当研究所副所長
○閻 和平	本学経済学部教授	○松尾俊彦	本学総合経営学部教授
○片山隆男	本学経済学部教授・副学長	大城戸靖彦	本学事務局長
○塩田眞典	本学経済学部教授		

### ◇◇編集後記◇◇

11月には比較地域研究所でメコン川流域のビジネス事情にまつわる市民講座を開催予定だが、その講師の方からの案内で、先日、「日越外交関係樹立40周年」及び「日越友好年2013年」を記念する公演プログラム「ベトナム、わが故郷」を鑑賞した。ホーチミン市国立芸術団によるベトナムの歌、踊り、音楽、伝統アオザイファッションショーのパフォーマンスである。

最初の女性の踊りが終わった後、ベトナムでトップのオペラ歌手が「昴」を日本語で歌った。イメージが広がるのは、歌手の力もあるだろうが、これまで以上に歌詞が妙に革命や、壮士などという言葉を連想させる。それでこの曲がアジアで人気があるのかと再認識。

その他印象に残ったのは、民族楽器バンド「新太陽」。ハノイ音楽院で民族楽器を学んだ女性4人によるバンド。「ダンガオ」という中国の二弧に似た弓奏楽器の粘りのあるつややかな音色を持つものや琴状の「ダンガウ」、木琴の高音部（木の短いほう）を高く持ち上げたような形の「トルン」、これは数本の竹筒を縄梯子状につるした竹製の打楽器といった民族楽器による構成だ。演奏レベルが高く、洗練された演奏でロック調の曲を奏で、聴きやすい。

実際に人々が演じているのを見ると、親しみや興味が湧いてくる。これからもベトナム文化に注目していきたいと素直に感じられた催しだった。

（岡村良子）

2013年11月11日 発行

地域と社会 第16号

編集・発行

大阪商業大学比較地域研究所

〒577-8505

東大阪市御厨栄町四丁目1-10

TEL(06)6785-6139

印刷

創造工房ライジングサン

